



工業品

引地精工株式会社

産業用省力化機械の設計製作・設備メンテナンスなどを手掛ける。大手ユーザーの海外シフトが進み、国内需要の先細りや、関連情報が海外ユーザーからの方が多くなっていたことから海外展開を計画

展開国・地域 2016年 タイ

企業情報 所在地: 宮城県岩沼市 従業員数: 70名
設立: 1979年5月 URL: <http://www.hikichiseiko.com/company>

事業内容 生産ラインの構想、設計、部品製作、組立、設置、メンテナンス/
治工具設計製作、部品単品加工、他



- 1 工場内部 装置組立工場
- 2 工場全景
- 3 自動組立装置 車載用 部品搬送装置
- 4 自動組立装置 車載用 部品検査装置



何度でも「やる」「やらない」の議論を繰り返して

前社長には中国、ベトナム、タイなどの現地視察に同行してもらいながら海外進出の必要性を説得するも、海外展開のリスクへの不安が大きかったため、終始一貫して海外進出に反対の姿勢は変わりませんでした。しかしながら、海外進出の調査は着実に進め、現社長就任後本格的に進出に向けて活動を始めました。それでも資金の問題や進出リスクが大きな障害となり、ジェットロの専門家も交えて何度でも「やる」「やらない」の議論を繰り返しながら、ジェットロははじめ多くの支援機関の支援をいただき、2016年にタイへの進出を実現しました。進出に際して、現地での各種手続きや手順がコロコロ変わること戸惑うこともありましたが、専門家や現地コンサルのお陰で問題を乗り越えることができました。現在は従業員の定着率のさらなる向上に少し苦労していますが、全体的に現時点では、売り上げも社員数も増え、順調に推移している状況です。

元気の良い海外企業をターゲットに

進出のきっかけは、国内の大手顧客が次々に海外にシフトし国内の需要が低迷してきたこと、将来的にもその動きは加速する可能性が大きかったこと、関連する情報は国内の顧客よりも海外の顧客からの方が多く得つつあったこと、等々が進出を決心する大きな理由となりました。同時に、リーマンショック後でも、元気の良い企業が海外に多く存在しているのを知り、それらの企業をターゲットに海外進出しようと考えました。赴任者のことを考え、親日国家であること、治安が良いこと、日本人の口に合う食事が多いこと、なども考慮しました。タイへの進出は、低賃金を求めている海外進出ではなかったため、優秀な人材には日本と同程度の賃金を支払っています。進出地域選択にあたっては日系企業からの引き抜きを警戒し日系企業の少ない、かつ優秀な人材を集めやすいバンコク近郊の工業団地を意図的に探し確保できたことは非常に幸運でした。

何度でも足を運び自分自身で最新情報を集める

何度でも再スタートは可能なので、悩んだらゼロに戻し、再考を繰り返し、石橋を叩き時にはやめる勇気を持ちながら何度でも試行錯誤を繰り返して今日に至っています。何度でも現地に足を運び、自分自身で最新の情報を収集する努力が絶対に必要です。大手ユーザーのみならず中小企業からの情報、特に同業者の中小企業からは立ち上げのこと、工場運営のこと、就業規則に関することなど多くの情報を得ることができました。操業後は現地でも日本品質を維持し提供していることが評価され、国内では顧客になり得ないような大手企業との取引が増えています。進出の大きなメリットとしては、国内外運営での将来へのリスク分散、各種精度の高い情報収集が可能となったこと、ユーザーフォローが直接現地で行えることです。国内においては、社員のモチベーションが向上し、社内が活性化してきたことにも驚いています。



代表取締役専務
引地 寿和 氏

悩んだらゼロに戻し再考する。
石橋を叩き時にはやめる勇気も



ジェットロ仙台からのポイント

引地精工は、海外進出の必要性和リスクの議論を繰り返しながらも着実にFS調査を行い、経営者交代を機に積極的に海外展開を進めたことや、専門家に包み隠さず全ての情報を開示し、互いに腹を割って相談・アドバイスしていたことが成功の鍵だったと思います。中小企業目線での専門家のアドバイスや専門家の知り合いの現地コンサルタントとの出会いも成功の大きな要因となったものと思います。